

令和 5 年 7 月 7 日

報道関係者各位

独立行政法人国立科学博物館

関東大震災 100 年企画展 「震災からのあゆみ ー未来へつなげる科学技術ー」開催のお知らせ

国立科学博物館（館長：篠田 謙一）は、2023（令和 5）年 9 月 1 日（金）から 11 月 26 日（日）までの期間、下記のとおり、関東大震災 100 年企画展「震災からのあゆみ ー未来へつなげる科学技術ー」を開催いたします。

関東に甚大な被害を及ぼした 1923（大正 12）年関東大震災が発生してから、今年で 100 年を迎えます。本展は、関東大震災とその復興、この 100 年間で地震防災研究、現在の災害対策やその課題について紹介します。人と自然、科学技術の関係や、過去から学び未来へ継承していくことの重要性を考える展覧会です。

広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願いいたします。

※報道内覧会を 8 月下旬に実施予定です。詳細につきましては、改めてお知らせいたします。

記

【企画展名称】 関東大震災 100 年企画展「震災からのあゆみ ー未来へつなげる科学技術ー」

【開催場所】 国立科学博物館（東京・上野公園）

【第 1 会場】 日本館 1 階 企画展示室

【第 2 会場】 地球館 1 階 オープンスペース

【特設会場】 日本館 1 階 中央ホール ※10 月 11 日（水）～

【開催期間】 2023（令和 5）年 9 月 1 日（金）～11 月 26 日（日）※会期は変更になる場合がございます。

【開館時間】 9 時～17 時 ※入館は 16 時 30 分まで。

【休館日】 月曜日（月曜日が祝日の場合は火曜日）※ただし 10 月 2 日（月）は開館

【入館料】 一般・大学生：630 円（団体 510 円）（税込）、高校生以下及び 65 歳以上無料

※本展は常設展示入館料のみでご覧いただけます。団体は 20 名以上。

※入館方法の詳細等については、当館ホームページをご覧ください。

【主催】 国立科学博物館

【監修協力】 東京大学

【協賛】 渋沢栄一記念財団

【後援】 文化財防災センター

【特別協力】 あいおいニッセイ同和損保、NHK 財団

【協力】 NEC、応用地震計測、大林組、鹿島建設、気象庁、国土地理院、国立映画アーカイブ、産業技術総合研究所、清水建設、第 16 回日本地震工学シンポジウム、台東区立下町風俗資料館、帝国データバンク、鉄道総合技術研究所、東京ガスネットワーク、東京大学、東京都、東京都復興記念館、東武タワースカイツリー、名古屋大学、日建設計、日本地震学会、東日本旅客鉄道、防災科学技術研究所、Eukarya（予定含む）

【公式サイト】 <https://www.kahaku.go.jp/event/2023/09earthquake/>

【お問い合わせ先】

国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL:03-5814-9840、9883、9887 FAX:03-5814-9898

E-mail: kikakuten@kahaku.go.jp

【展示構成】（予定）

■【第1会場】第1章 1923年関東地震とその被害 ―関東大震災―

1923年関東地震がどのような地震だったのか、どのような被害が生じたのか、科学的観点から当時の資料を用いて紹介します。地震が発生するメカニズムや、当時の地震・防災研究や国立科学博物館の活動も紹介します。



油彩画「浅草公園の惨状」（所蔵：国立科学博物館）



海外で使われた被害写真の幻灯（所蔵：国立科学博物館）

■【第1会場】第2章 関東大震災からの復興 ―災害に強いまちづくり―

災害に強い帝都をつくるため、耐震・耐火かつ景観を意識した復興計画が立てられました。復興に向けた取り組みが、現在の都市部の基礎となっていることやその課題、さらに関東大震災以降の地震研究や観測体制の変化、国立科学博物館の震災からの復興について紹介します。



ウィーヘルト式上下動地震計（所蔵：国立科学博物館）



隅田川復興橋梁模型（所蔵：国立科学博物館）

■【第1会場】第3章 100年間の地震・防災研究 ―災害に負けない国へ―

観測技術の発展によって実現した緊急地震速報や津波情報、建築物に対する防災・減災技術、ライフラインへの対策など、関東大震災から100年間の地震・防災研究のあゆみを紹介します。



霞が関ビル建築模型（所蔵：国立科学博物館）



津波フラッグ（所蔵：国立科学博物館）

かつてこの地で何が起こっていたのか・・・。

当時の被害を伝える様々なコンテンツを大型ディスプレイシステムに投影し、よりリアリティーを感じてもらいながら、災害の様子や当時の様相などを紹介します。次の災害にどう備えればよいのか、次の世代に何を伝えればよいのかを考えるきっかけとします。



大型ディスプレイシステム

(写真提供：東京大学 渡邊英徳 教授)

科学技術で当時の写真をカラー化！

AI 技術と人の手によって、当時の写真を彩色しました。モノクロ写真だとどこか他人事だった 100 年前の出来事が、カラー化によって我が事として感じられるでしょうか。

会場では、国立科学博物館が収蔵する震災当時の写真 10 点のカラー化前とカラー化後の写真を展示します。

浅草復興 仲見世通り



カラー化



(カラー化協力：東京大学 渡邊英徳 教授)

■【第2会場】災害に備える

地震災害は身近に起こりえることだということを理解し、今関東で地震が発生したら、どのような情報が出て、どう行動すればよいのか、どのような被害が想定されるのか、今私たちが考えるべきことや未来へつなげる防災を紹介します。

■【特設会場】災害を展示する ―伝え方の歴史― (※10月11日～)

過去から現在まで、災害はどのように伝えられてきたのか。その歴史を辿るとともに、災害を表現した画報や油彩画、絵図などの資料を紹介します。また、これからどのように伝え残していくのか、8K モニターを用いて最新のデジタル技術を駆使した取り組みを紹介します。

【本展監修者】



国立科学博物館 理工学研究部 理化学グループ 研究主幹 室谷 智子（むろたに さとこ）

専門は地震学。地震・津波の観測波形記録を使って、どのような地震が起きたのかを調べる研究や、明治・大正期の地震資料から日本の地震調査研究の歴史について調べています。

【監修協力】

- ・ 東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター長・教授 目黒 公郎（めぐろ きみろう）
- ・ 東京大学大学院工学系研究科 教授 羽藤 英二（はとう えいじ）
特任助教 中尾 俊介（なかお しゅんすけ）
- ・ 東京大学大学院情報学環・学際情報学府 教授 渡邊 英徳（わたなべ ひでのり）
- ・ 東京大学生産技術研究所 准教授 大石 岳史（おおいし たけし）

【関連イベント】（予定）

■ 関東大震災 100 年企画展「震災からのあゆみ」特別講演会 Vol. 1

【開催日時】 2023 年 9 月 2 日（土）13 時 30 分～15 時 10 分（定員：120 名（事前申込制））※予定

【登壇者】 東京大学 教授 羽藤 英二・渡邊 英徳／

国立科学博物館 理工学研究部 研究主幹 室谷 智子

【費用】 無料 ※常設展示入館料が別途必要です。

【申込方法】 国立科学博物館 HP のイベントカレンダーから WEB 予約

<https://www.kahaku.go.jp/event/all.php?date=20230902> ※申込：7 月 18 日（火）～8 月 17 日（木）

■ 地震学会 & 第 22 回地震火山地質こどもサマースクールジョイントフォーラム in 国立科学博物館

【開催日時】 2023 年 9 月 30 日（土）13 時 00 分～16 時 00 分（定員：100 名（事前申込制））※予定

【主催】 日本地震学会、第 22 回地震火山地質こどもサマースクール実行委員会、国立科学博物館

【登壇者】 地震学会会長 小原一成／地震火山地質こどもサマースクール実行委員（宍倉正展・

野崎篤・横山光）／こどもたち／国立科学博物館 理工学研究部 研究主幹 室谷智子

【費用】 無料 ※常設展示入館料が別途必要です。

【申込方法】 国立科学博物館 HP のイベントカレンダーから WEB 予約

<https://www.kahaku.go.jp/event/all.php?date=20230930> ※申込：8 月 21 日（月）～9 月 15 日（金）

その他にも、

- ・ 10 月 22 日（日）関東大震災 100 年企画展「震災からのあゆみ」特別講演会 Vol. 2
- ・ 11 月 4 日（土）みんなで翻刻してみた in 国立科学博物館
- ・ 11 月 11 日（土）起震車による地震体験等のイベント

など、各種講演会やイベントの実施を予定しています。詳細は、随時公式サイトにてお知らせします。

【お問い合わせ先】

国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL: 03-5814-9840、9883、9887

FAX: 03-5814-9898

E-mail: kikakuten@kahaku.go.jp

広報用写真提供

広報用として写真をご用意しております。

国立科学博物館ホームページの「各種手続き・報道関係資料」→「写真の貸出」からお申込みできます。
(<https://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/index.html>)



① 関東大震災100年企画展「震災からのあゆみ
—未来へつなげる科学技術—」ポスター

② 油彩画「浅草公園の惨状」
(所蔵：国立科学博物館)

③ 関東地震の本震記録(複写)
(所蔵：国立科学博物館)



④ 海外で使われた被害写真の幻灯
(所蔵：国立科学博物館)



⑤ ウィーヘルト式上下動地震計
(所蔵：国立科学博物館)



⑥ 隅田川復興橋梁模型
(所蔵：国立科学博物館)



⑦ 霞が関ビル建築模型
(所蔵：国立科学博物館)



⑧ 津波フラッグ
(所蔵：国立科学博物館)



⑨ 浅草復興 仲見世通り
(写真：国立科学博物館)



⑩ 浅草復興 仲見世通り
(写真：国立科学博物館、
カラー化協力：東京大学 渡邊英徳 教授)

【記事利用の際のお願い】

- * 写真使用は本展の紹介目的のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- * 写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。
- * 記事のなかで、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は、確認のため、下記担当まで校正原稿をお送りください。
- * ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りくださいますようお願い申し上げます。

〈お問合せ先〉 国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当
電話 03-5814-9840、9883、9887 FAX 03-5814-9898
E-mail: kikakuten@kahaku.go.jp 〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

1923-2023...

関東大震災100年企画展

震災からの あゆみ

— 未来へつなげる科学技術 —

2023

9.1^金 11.26^日

国立科学博物館 (東京・上野公園)

開館時間：9時～17時(入館は16時30分まで)

休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)
ただし10月2日(月)は開館

会場：[第1会場] 日本館 1階企画展示室
[第2会場] 地球館 1階オープンスペース
[特設会場] 日本館 1階中央ホール
※10月11日(水)～



[入館料] 一般・大学生 630 円 (団体 510 円) ※常設展示入館料のみでご覧いただけます。

※団体は 20 名以上。※高校生以下および 65 歳以上は無料。

[主催] 国立科学博物館 [監修協力] 東京大学 [後援] 文化財防災センター

[協賛] 渋沢栄一記念財団

[お問い合わせ] ハローダイヤル：050-5541-8600 FAX：03-5814-9898

[ホームページ] <https://www.kahaku.go.jp/>



国立科学博物館

National Museum of Nature and Science